

公開番号 PD03_21-19

倫理審査承認日	2021 年 3 月 2 日
試料・情報の 利用目的・利用方法	新規肝疾患マーカーの有用性評価
提供される試料・情報	<ul style="list-style-type: none">● 試料の種類：血液 200 μL● 情報の種類：傷病名、投薬内容、検査又は測定の結果、年齢、性別、病歴● 提供元機関：国立大学法人 熊本大学● 試料・情報提供者：国立大学法人 熊本大学 <p>（１）熊本大学病院で慢性肝疾患（肝硬変、肝がん含む）と診断が確定された症例200 例</p> <p>（２）肝がん以外のがんおよび良性疾患の症例 100 例</p>
利用する者	富士レビオ株式会社 研究開発本部 森山 和重、伊勢 伸之、白川 貴志
試料・情報の 管理責任者	富士レビオ株式会社 研究開発本部 青柳 克己
オプトアウトの機会提供	弊社では情報と個人を結びつけることができないためオプトアウトの機会提供は致しません。

公開番号 PD04_21-20

倫理審査承認日	2021 年3月2日
情報の 利用目的・利用方法	九州歯科大学が開発したADCHECK を用いた歯周病検査方法を用いて、歯周病と生活習慣病リスクに関するあらたな知見を探索する。
提供される情報	<ul style="list-style-type: none">●情報の種類：口腔調査票、健康質問票、電子データ、唾液検体●提供元機関：一般財団法人 西日本産業衛生会、豊前市役所、アドテック株式会社●情報提供者：一般財団法人 西日本産業衛生会の各事業所、豊前市役所、アドテック株式会社で実施されている健康診断受診者1,000名。
利用する者	合同会社 H.U.グループ中央研究所 小見 和也、加藤 聡史
情報の管理責任者	合同会社 H.U.グループ中央研究所 小見 和也
オプトアウトの機会提供	弊社では情報と個人を結びつけることができないためオプトアウトの機会提供は致しません。

公開番号 PD05_21-21

倫理審査承認日	2021 年 3 月 2 日
情報の 利用目的・利用方法	透析導入前の慢性腎臓病（CKD）患者のリスク値の経時変化パターンにおいて高リスクのパターンが見つかることを目的とする。その結果を基に早期に治療・生活習慣指導をおこなうことで腎機能低下発症を遅延あるいは予防することが期待できる。情報の利用方法としては、まずはCKD患者において対象患者の背景因子と腎機能低下速度との関係进行分析し、潜在する腎機能低下危険因子をスクリーンする。次に検出された危険因子のリスク値の経時変化パターン群間で、腎機能低下発症率に差があるか検討する。
提供される情報	<ul style="list-style-type: none">●情報の種類：患者基本項目、保冷24 時間蓄尿検査計測値、血液検査値、使用薬剤、イベント発生、アンケートの回答●提供元機関：大幸砂田橋クリニック●試料・情報提供者：大幸砂田橋クリニックに通院し、蓄尿検査を受けたCKD 患者。1000例程。
利用する者	合同会社 H.U.グループ中央研究所 小見 和也、加藤 聡史
情報の管理責任者	合同会社 H.U.グループ中央研究所 小見 和也
オプトアウトの機会提供	弊社では情報と個人を結びつけることができないためオプトアウトの機会提供は致しません。